

平成 年度

養護実習(養護教諭教育実習)の記録

実習校

学校

課程

専攻

コース

学科

学籍番号

番

氏名

指導教諭氏名

大阪教育大学

教育実習の記録の取扱いについて

- 1 この記録は、教育実習の行われる当該年度の大学における事前指導（オリエンテーション）からていねいに記録していくこと。
- 2 記録用紙は、紛失したり破損したりしないよう、ファイルに綴じる等により利用すること。
- 3 記録の取扱いについては、作成方法を含め実習校から指示があればそれに従うこと。
特に園児、児童、生徒のプライバシーには充分配慮すること。
- 4 記録は最終的には実習校から実習生に返却されるので、実習終了時に返却方法について実習校の指導教諭から説明を受けること。

<養護実習（養護教諭教育実習）の記録>

— 目 次 —

- ・教育実習指導要項
- ・実習についての心得
（実習生が注意すべき一般事項が記入されており、実習生はよく読んでおくこと。それに加えて各実習校でなされる諸注意を守ること。）
- ・養護実習（養護教諭教育実習）の手引き
- ・大学における事前指導の記録欄
（大学主催の行事としてなされる事前指導の際に記入する。）
- ・実習校における事前指導の記録欄
（実習校でなされる事前指導の際に記入する。）
- ・教育実習に臨むにあたって
（実習が始まる前に、理想とする教師像、実習に対しての抱負・期待、現在児童・生徒に対してどのようなイメージを持っているか、実習生としてどのようなことに留意すべきと考えるか等をまとめる。）
- ・実習校の概要
（実習校の教育目標等を記入し、実習校の概要を把握する。）
- ・養護実習日誌
（教育実習の日々の様子、取り組みの反省等を記入する。）
- ・児童・生徒観察記録
（個々の児童・生徒の様子を観察し記録する。）
- ・児童・生徒集団観察記録
（児童・生徒集団の様子を観察し記録する。）
- ・教育実習授業観察録
（他の実習生の研究授業等で、授業の様子を観察し、実習生自らが授業についての意見等を記入する。）
- ・学習指導案貼付欄／授業の高評・授業者の反省等
（表側に学習指導案を貼付もしくは記入し、裏側の記入欄に授業の高評・授業者の反省等を記入する。）
- ・教育実習を終えるにあたって
（実習生の意見及び感想と実習校の意見及び感想）
- ・大学教員所見欄

教育実習指導要項

I 実習の目的

大学における一般教養、専門教養及び教職教養に基づいて人間尊重の精神を基盤とする教育の理論と実践を統一的且つ有機的に体験するとともに、養護教諭に必要な基本的な技術を修得する。

II 実習活動の基本理念

実習の目的を達成させるため、ひとりひとりの幼児・児童・生徒の健康を保持増進する活動に積極的に取り組み、民主主義教育の真の担い手として素地を養いよう実習する。

III 実習活動の内容

前項の理念のもとに実習校における教育目標、人権教育の推進計画に従い次の各項にわたって実習する。

- 学校安全保健・安全計画の立案と運営
- 保健安全管理活動
- 保健安全指導活動
- 保健室経営
- 特別活動・総合的学習の指導
- 保健（小学校にあつては体育）の教科の領域に係る事項の指導
- 生活指導（生徒指導）
- 総合的な学習指導
- 教育評価

IV 実習の過程

第1期 オリエンテーション

- ア) 大学におけるオリエンテーション
- イ) 実習校におけるオリエンテーション

第2期 実習の予備的理解と観察

- ア) 実習校における学校・学年・学級の特性と学校保健安全計画についての理解

- イ) 学校諸施設、特に保健室の参観
- ウ) 養護教諭の行う諸活動についての観察
- エ) 児童・生徒の観察
- オ) 地域の実状の把握

第3期 教育活動への参加と研究

- ア) 保健安全指導及び保健安全管理活動の実践
- イ) 特別活動・総合的学習の指導の実践
- ウ) 保健（小学校にあつては体育）の教科の領域に係る事項の指導の実践
- エ) 実習生による職務研究
- オ) 教材の自作、教育機器の利用研究
- カ) 総合的な学習の時間の指導の実践
- キ) 上記以外の教育活動への参加と研究

第4期 教育活動の拡充と発展

- ア) 養護教諭の職務研究
- イ) 学校保健安全活動の評価の実地研究
- ウ) 教師の研修活動についての研究と自己の研究課題の発見
- エ) 他校参観

V 実習の評価

実習の過程に即し、実習活動の内容全般にわたって総合的に評価する。

1. 成績評価は秀・優・良・可・不可とする。評価は絶対評価とする。
2. 出席すべき日数の5分の4に相当する日数以上に出席していない者には、成績評価を行わない。
3. 評価は実習校担当教員と協議の上実習校において行い、教育実践実施委員会で判定する。

実習についての心得

A. 実習生は出退につき次の事項を守ること。

- ① 登下校の時間は、実習校の指示に従うこと。実習準備のため余裕の持てる時間（始業 20～30 分前）に登校し、出席簿に捺印すること。下校するときは担任教諭の了解をすませておくこと。
- ② 病気などのために欠席するときは、事前に欠席届を担任教諭を経て学校長に提出すること。急病などのため、事前に欠席届を提出できないときは、なるべく速やかに連絡をとること。
- ③ 遅刻・早退などについても、上記に準じて、事前にその手続をふむこと。

B. 実習生は服務に関し、次の事項を守ること。

- ① 服装・態度・言語には、教師としての品位を失うことのないよう注意すること。
- ② 校舎内では、上履を用いること。
- ③ 各種当番（日直・交通当番など）は責任をもって確実にを行うこと。

C. 実習生は実習活動に関し、次の事項を守ること。

- ① 実習校の教育方針・その他諸規則は充分理解し守ること。
- ② 実習の場所や時間については、実習校の指示に従うこと。
- ③ 常時は、養護教諭について指導を受けること。
- ④ できるだけ機会をもとめて、大学指導教員の指導を受けること。
- ⑤ 学級活動における保健安全指導を行うときは、その前日に指導案を作成の上、担任教諭に提出し、その指導を受けること。

D. 実習生は、次の事項について専行を許されない。

- ① 実習校の許可なく、児童・生徒を校外に連れ出すこと。
- ② 児童・生徒の家庭と文通し訪問すること。
- ③ 所定の場所以外、特に教室内で喫煙すること。
- ④ やむを得ざる場合以外の電話の使用。

E. その他

- ① 出席しなければならない日数の 5 分の 1 を超えて欠席した場合は、成績評価の対象にならないから充分注意すること。
- ② 実習中の諸経費（定期代・遠足代・校外学習費・給食代・教科書代・プリント用更紙・原紙など）は、各自の負担となるから相当多額の経費を準備しておくこと。
- ③ 実習生は教育実習記録及び指導案を実習学校長に提出しなければならない。
- ④ 協力校（含出身校）実習の者は提出した実習の記録及び指導案を実習学校と連絡をとり実習生代表、又は実習生自身で受取りに行くこと。
- ⑤ 実習学校長より返却された実習記録及び指導案は各自の指導教員に提出し、返却された後は大切に保存すること。
- ⑥ 実習中に知り得た、児童・生徒の個人情報を守秘すること。
- ⑦ 教育実習前には「学生教育研究災害傷害保険」及び「学生教育研究賠償責任保険」に加入すること。

養護実習(養護教諭教育実習)の手引き

1. 実習の目標及び性格

実習は学内の講義や実習並びに臨床実習で学んだ知識・技術に関する成果を、学校教育の現場において、養護教諭の立場で実践し、応用することによって、養護教諭に必要な基本的知識・技術を体系的に把握するものである。さらに実習の経験にもとづいて教育者としての自覚を高めるとともに、より良い養護教諭を目指して人格を高め、知識・技術を深めるための自己評価の場とするためのものである。

このために、実習計画は各実習校の教職員組織や施設・設備、児童・生徒の実態等に応じて作成されるが、一般的な実習の目標は以下のようである。

- ① 学校における教育計画、学校保健安全計画とその運営、実施について理解する。
学校の特性(校種、規模、地域の実情など)にもとづいて、教育計画、学校保健安全計画がどのように立案されていくのか、その計画にもとづく教育活動、学校保健安全活動がどのように運営されているのかを理解する。
- ② 児童・生徒等の実態を把握し、理解する。
児童・生徒等の発育発達過程における特質と学校生活の実態を観察し、これを理解することによって、学校保健安全活動運営の基礎的資料とする。
- ③ 養護教諭としての執務を経験する。
 - a. 学校教育、学校保健安全活動における養護教諭の役割について理解する。
 - b. 保健安全管理活動における能力を養う。
 - c. 保健安全指導の理論と方法を身につける。
 - d. 教科指導の理論と方法を身につける。
- ④ 教師として研究活動の実践を知り、経験する。

2. 実習の内容

- ① 実習校の概要
学校の沿革、教育目標、学校運営、教育課程(各教科、道徳、特別活動)、生活指導、視聴覚教育、図書館教育、地域社会との関係、現職教育、PTA活動等について知る。
- ② 学校保健安全計画
学校保健安全計画の立案・運営と養護教諭の役割、学校保健安全計画における職員組織、学校保健安全委員会、児童・生徒保健安全委員会、PTA保健安全部会等について知り、学校保健安全問題の把握と解決方法を理解する。
- ③ 児童・生徒の観察
 - a. 身体的特質(発育、発達、機能、体力など)、精神的発達、心身の相関及び生活行動について観察し、一般的傾向と同時に個人差についても知り、1人1人の児童・生徒の把握に努める。
 - b. 健康観察の計画、内容、方法、事後措置について知る。
 - c. 欠席調査と事後措置について知る。
- ④ 健康診断
定期及び臨時健康診断、教職員の健康診断、就学時健康診断及び月例身体測定等について

- a. 計画立案の課程と学校医、学校歯科医、保健所との連携について知る。
- b. 機械、器具類の準備と整備、健康診断票及び記録カードの準備等、事前の教務について知る。
- c. 保健調査の内容と方法について知る。
- d. 児童・生徒等への事前指導及び担任への助言について知る。
- e. 実施にあたっての一般教諭の役割分担と養護教諭の役割について知る。
- f. 診断の方法及び技術的基準、記録の方法を知る。(機会があれば実習する。)
- g. 健康診断に伴う保健指導の内容と方法を知る。
- h. 結果の集計(統計表の作成)とその利用法を知る。
- i. 結果の通知と治療、精密検査、予防接種等の指示、疾病異常者の継続観察及び保健指導の方法について知る。

⑤ 環境衛生管理

- a. 学校環境の実態把握と管理計画を知る。
- b. 環境衛生管理における学校薬剤師及び養護教諭の役割を知る。
- c. 学校環境衛生検査の方法と判定基準得を知る。(機会があれば実習する。)
- d. 学校環境の改善及び机・腰掛などの適正配置について知る。

⑥ 健康相談

- a. 学校保健法にもとづく健康相談事業の計画立案、対象の決定、準備と連絡、学校医、学校歯科医及び担任との連絡調整、実施方法、事後措置について知る。
- b. 養護教諭並びに一般教諭が行う健康相談・指導の計画、運営について知る。

⑦ 疾病予防

- a. 児童・生徒等に多い疾病の実態を知り、原因と対策を理解する。
- b. 伝染病、食中毒の予防処置と発生時の対策について知る。
- c. 予防接種の計画、準備、実施について知り、機会があれば参加実習する。

⑧ 安全管理

- a. 学校安全計画と実施、運営について知り、教職員の役割分担について知る。
- b. 定期及び臨時の安全点検と事後措置、日常における安全な環境の維持について知る。
- c. 児童・生徒等の事故、災害の実態を知り、防止対策を理解する。
- d. 災害共済給付の制度について知り、災害報告書の作成を実習する。

⑨ 学校給食の衛生管理と栄養指導

- a. 給食従事者の保健管理、調理室の環境衛生管理、給食用物資の衛生的保管、調理用器具の衛生管理、食品取扱い上の衛生管理等について実態とその方法を知る。
- b. 栄養指導、食事指導の計画と実施方法を知る。

⑩ 保健指導(安全指導を含む)

- a. 保健指導の計画、実施について知る。
- b. 学級活動における保健安全指導の目標、指導内容、指導方法、評価の仕方について知り、機会があれば指導案の作成と指導にあたる。
- c. 学校行事における保健安全指導、児童会活動(生徒会活動)における保健安全指導、クラブ活動における保健安全指導の目標、内容、方法を知る。
- d. 教育活動全般にわたって行われる体育・健康に関する指導について知る。

- ⑪ 保健（小学校にあつては体育）の教科の領域に係る事項の指導
 - a. 教科保健の指導計画と実施について知る。
 - b. 教科保健の指導目標・指導内容、指導方法、評価の仕方について知り、指導案の作成と指導にあたる。
- ⑫ 総合的学習の指導

総合的学習（健康に関する課題）における指導目標、指導内容、指導方法について知り、機会があれば指導案の作成と指導にあたる。
- ⑬ 学校救急看護

救急処置計画、救急看護の判断・実施、医療機関・学校医・担任・家庭等への連絡方法、継続観察及び指導、救急看護器材の点検・整備、救急看護記録の方法と整理について知る。
- ⑭ 学校行事における保健安全管理

運動会、遠足、修学旅行などにおける保健安全管理計画と運営について知る。
- ⑮ 保健室の管理と運営

保健室の管理運営方針と利用状況、設備及び備品の整備、諸記録・資料・書類等の整備、救急処置の実施、健康診断の実施、健康相談の実施等について知る。
- ⑯ 評価
 - a. 教育評価の一般的な方法及び事後措置について知る。
 - b. 学校保健安全評価の計画について知る。
 - c. 学校保健安全計画及び運営に関する評価方法について知る
 - d. 養護教諭の活動の自己評価の方法について知る。
- ⑰ 自己研修及び教師の行う教育研究
 - a. 日常の執務における研修、研究活動について知る。
 - b. 機会があれば研修活動、地区部会等に参加するとともに、保健・教育関係諸施設等を見学する。

実習校の概要

学 校 名	学 校		
所 在 地			
校 長 名			
指 導 者 名	保 健 主 事		
	養 護 教 諭		
期 間	自 平 成	年	月 日
	至 平 成	年	月 日

教 育 目 標

本 年 度 の 目 標

養 護 実 習 日 誌

天 候	温 度	湿 度
平成 年 月 日 曜日		
A M		

P

M

児童・生徒の状況、教育の取り組みの検討、考察、等

指導・講評

この観察記録は、実習校の指示に従い氏名をアルファベット等で表したり、
実名で記入した場合は、実習終了日に実習園へ提出すること。

平成 年度

児童・生徒観察記録

実習校

学校

課程

専攻

コース

学科

学籍番号

番

氏名

指導教諭氏名

大阪教育大学

教育実習授業観察録

観察者氏名		授業者氏名	
月日	年 月 日 (曜) 時限目	年組	年 組
題目		指導教諭	教諭
授業の展開	授業者 (発問・説明など)		学習者 (応答・作業など)
開	(板書)		
指導準備		指導態度	
指導技術			

学 习 指 导 案

学 习 指 导 案 贴 付 栏

